

# 本校の学力及び学習の状況 ～令和4年度 全国学力・学習状況調査～

副校長 齊 藤 誠

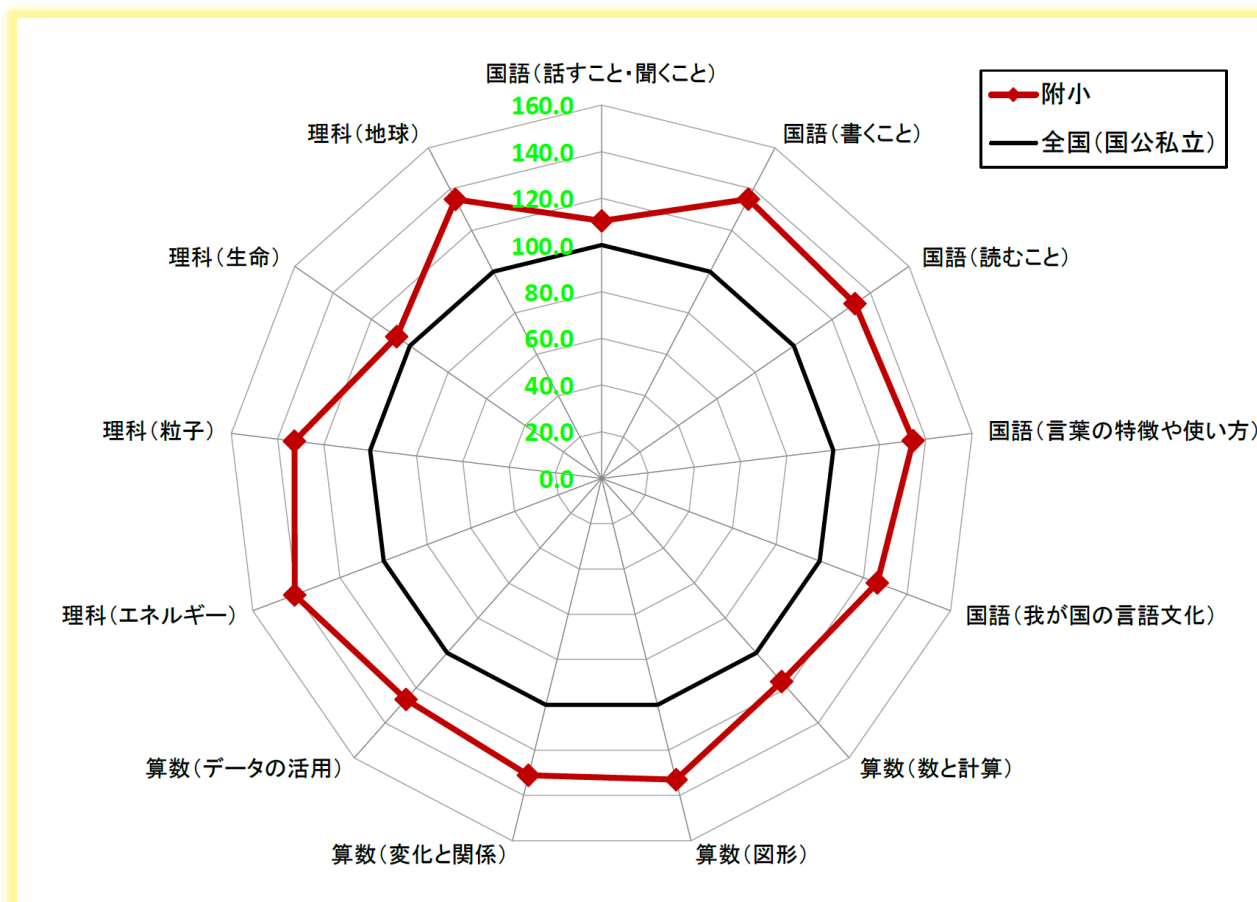
今年の4月19日に、令和4年度全国学力・学習状況調査が実施され、本年度の調査結果が7月末に公表されました。

本調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、国等の教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることなどをねらいとしています。

## 1. 国語、算数及び理科の全国平均との差について

本調査は、第6学年を対象に、今年度は国語、算数及び理科の調査を実施しており（理科は3年に1度の頻度で実施）、本校児童の調査結果の概要は次の通りです。

教科の領域別に全国を100とした場合の本校の状況をレーダーチャートで示したものです。  
(本校の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。例えば、「算数の計算は苦手だが、どのようにしたら問題を解決できるのか考えることは大好き」、「うまくできなくてもあきらめずに最後まで追究する」というような、学力の別の面で秀でている児童の実態までは十分に把握できない場合があります。そのため、本校では、本調査と日頃の学習の状況を総合的に捉えて児童の学力を把握するよう留意しています。

全ての教科・領域で、全国平均を上回っていますが、特に、国語の「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方」、算数の「図形」、理科の「エネルギー」「地球」で全国平均を大きく上回っています。

## 国語

国語については、日頃から読書に親しむ児童が多いことに加え、教材文を読みながら表現の工夫や特徴、優れた点を読み取ったり、言葉の使い方への理解を深めたりするなど、国語への関心・意欲を高める指導の工夫を低学年の頃から積み重ねています。

例えば、これまでに学習した文章と今学習している文章を比較し、文章構成の工夫や表現の特徴を読み取る学習をすることがあります。比較しながら読むことで、工夫や特徴に気付きやすくなります。

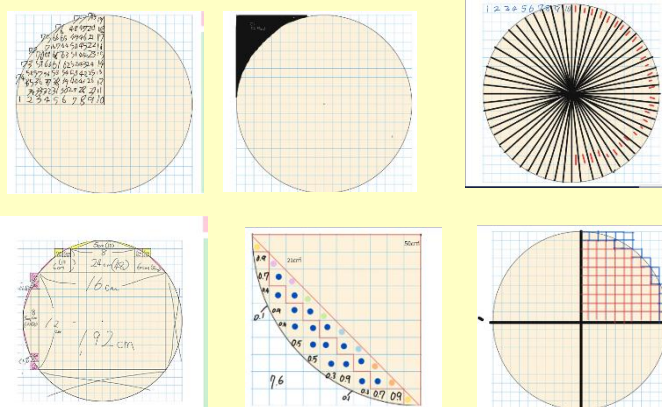
このような学習の積み重ねが、言語の力を高めることにつながったと考えています。

## 算数

算数については、「なぜそのように考えたか」「これまでの学習との違いは何か」など、授業の中で思考力を高めることを大切にしています。

とりわけ、図形の学習については、友達がどのように考えたのか、ロイロノート（Chromebook に入れているアプリ）を使って知ることができ、自分一人では思いもよらなかった図形の見方や発想のよさに気付くことができます。

このような学習の積み重ねが、算数の力を高める結果につながったと考えています。



円の面積 ～豊かな発想は附小っ子の特徴～

Chromebookで友達の考えを一覧にして見せ合うことができます。

## 理科

理科では、例えば、単元の初めに粘土を重りとしてヤジロベエを作る場面を設定し、「どうやったら釣り合うだろうか?」という疑問や課題をもたせてから追究活動を進めるなど、「なぜ?」「どうして?」を大切に、それらの疑問や課題を解決する過程で科学的に考える力を育成しています。

低学年では、生活科の学習の中で、児童の気付きや発見そのものを大切に育てています。（お子様にとっては、新しい気付きはすべて大発見であり、大発明です。ですから、教師や親から褒めてもらえると博士になったように感じ、もっと観察したり、考えたりしたくなり、学ぶ楽しさを体で覚えていきます。）

このような学習の積み重ねが、科学的な思考を高める結果につながったと考えています。

一方で、本調査結果は「平均値」であることから、満足のいく結果を出せた児童がいれば、力を発揮できなかった児童や、実力に対して日頃の努力が足りていない児童もいます。また、ペーパーテストでは測定できない学力もあり、別の場面で力を発揮している児童もいます。学校としては、学習が苦手な児童にも目を向け、調査結果を真摯に分析しながら、日頃の授業改善に生かしてまいります。

なお、この文面で学校全体としての集計結果を全校の皆様にお伝えしましたが、一人一人の児童（調査対象の6年生）の個人票については、後日、お渡しいたします。

## 2. 学習状況について

本調査では、各教科の学力の他に、質問紙による調査も実施しており、学力に影響を及ぼすであろうと考えられる様々な要因についての実態を知ることができます。

質問内容	附小	全国
朝食を毎日食べていますか。	94.1	94.3
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	92.7	90.3
自分には、よいところがあると思いますか。	89.7	79.3
将来の夢や目標を持っていますか。	85.3	79.8
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） ※30分以上読書をする回答した割合	47.1	36.5
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強を読みますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） ※1時間以上と回答した割合	80.9	59.6
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強を読みますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） ※1時間以上と回答した割合	75.0	56.5
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。	83.8	65.5
5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか。	89.7	72.2

※回答は、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」の平均値の合計（％）です。

※全国平均は、全国の国公私立の小学校の平均値の合計（％）です。

全69問の質問の中から上記の内容を取り上げました。上記の全ての質問で肯定的に回答する児童の割合が全国平均を上回っています。しかし、「自分には、よいところがあると思いますか。」という質問に対して、10.3%の児童が「どちらかという当てはまらない」「当てはまらない」「無回答」であることから、全ての児童が自分のよさに目を向けられるようにすることが必要であると分かります。御家庭でも、お子様のよさや頑張りを認め、肯定的な言葉を掛けたり、成果を出せたことをお子様と一緒に喜んだりしてあげてください。

また、学習時間は、学習量の分かりやすい目安ではありますが、「何時間学習したか」よりも、「どれだけできる・分かるようになったか」「どれだけ身に付いたか」ということが重要です。同じ学習成果であるなら、短時間で学習が終了した方が効果的です。学習方法について不安のある方は、担任に御相談ください。よりよい方法を一緒に考えていきましょう。